

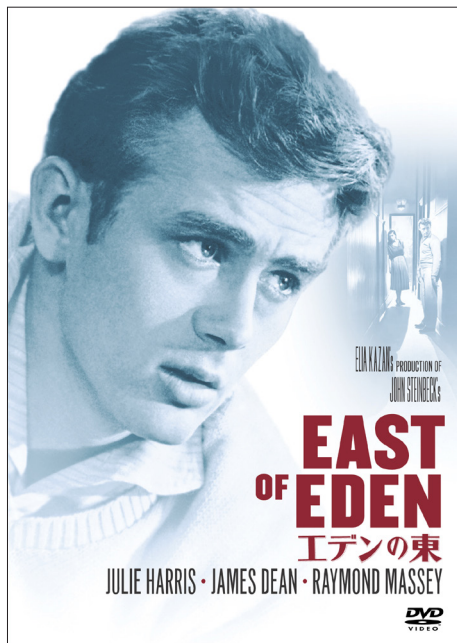
2015.10.15
vol.43

シネマ・ド・リぶらの コラム・ド・シネマ

映画
を
読む

本日の上映作品

エデンの東



10月15日（木）

① 10:30 ~ 12:30

② 14:00 ~ 16:00

旧約聖書の「カインとアベル」を下敷きにしたジョン・スタインベックの原作を名匠エリア・カザンが監督したジェームズ・ディーンの本格デビュー作。第一次世界大戦下のカリフォルニア州サリナスを舞台に、孤独を抱えたナイーブな青年の青春と家族との確執を描いた作品。

監督：エリア・カザン

原作：ジョン・スタインベック

出演：ジェームズ・ディーン、ジュリー・ハリス
レイモンド・マッセイ

製作：1954年アメリカ モノクロ 上映時間：118分

上映時の非常時対応についてのご案内

【停電の場合】

停電のときはいきなり電源が落ちますが、すぐに非常照明が点灯します。非常灯は結構明るく、リぶらホールには、階段席の右と左・後ろ右左の4カ所に非常口があります。

【地震や火事の場合】

震度3以上が予測される場合や火災が発生した場合には、館内放送があります。その場合は、映画上映時の音声は自動的に切り替えられ、ホール内に放送が流れます。地震の場合、実際には放送の途中で揺れがある場合や、

先に揺れがある場合も想定されます。来場者の皆様は、席を立たないで、その場で低い姿勢をとり、揺れが収まりましたら、ホールのスタッフの指示に従って下さい。

【環境の認識】

リぶらホールが、リぶらのどの辺りに位置するのか、館内の名称や出入り口をしっかりと確認しておきましょう。

【非常時の心得】

- ① 慌てない。一番危険なのは、避難時の転倒です。
- ② 職員の指示に従いましょう。
- ③ 子どもや障害者・高齢者を優先して、落ち着いて避難しましょう。

映画を読む 『エデンの東』

永遠の青春映画 K.M.

今回の作品は、'50年代映画界に彗星のように登場し、24歳という若さで亡くなったジェームズ・ディーンの初主演作にして、彼の人気を決定付けた不朽の名作『エデンの東』です。日本公開は丁度60年前の1955年10月14日。その2週間前、ディーンは愛車のポルシェを運転中、乗用車と激突してこの世を去っていました。日本人がディーンの映画を初めて観たのは、彼の死が報じられた直後だったのです。初日の上映館には長蛇の列ができ、東京ピカデリー劇場での公開時観客数20万人は、それまでの最高記録となりました。当時高校生で、映画はもっぱら3本立専門だった私もロードショーに足を運び、カリスマ性たっぷりのディーンと、流麗な中にも哀歓を漂わせたテーマ曲に感動して、この作品は終生忘れられない作品の一つとなりました。

今回上映にあたり、比較的最近の観客が、この作品をどのように見ているのか、興味が有り調べてみたので、いくつか紹介します。



◆ピュアなジェームズ・ディーン
(fab*****さん 2013年10月7日22時13分)

……愛について深々と改めて感じさせてくれる映画です。そして、この映画はなんと言っても、ジェームズディーン!! 彼でなかったら、違った味の映画になっていたんじゃないかと思う伝説の映画だと思います。悪い子の役なのにピュアで、実は誰よりも愛を求め憎めない子。そしてつい見とれてしまうオーラをまとっています。実際のジェームズディーンはどんな人だったんだろう....?

◆我が息子にそっくりだ

(sha*****さん 2011年7月15日18時01分)

ジェームズ・ディーンを観ていると、どこかで会ったような気がしてなかったが、家出中の我が息子にそっくりだという事に気がついた。見た目だけではなく、態度ややる事もそっくりだ。とっつきにくく、社会性がないように見える若者であっても、やさしい子の心持は、今も昔も、アメリカでも日本でも、こんなふうなんだろうなと思いました。

◆さすがにエリア・カザン監督作品
(omoidarouさん 2012年9月1日18時40分)

エリア・カザン監督作品は、どの作品も背景に描かれる社会性が実に見事で、登場する人物がしっかりとその時代のなかで生きていて、しかも人間らしい問題をかかえながら生きていることが素晴らしい。……何といってもトラスク一家の確執に揺れ動く、青春の女性心理を見事に演じたジュリー・ハリスの可愛らしさ

がたまりません。……「怒りの葡萄」のジョン・スタインベックならではの深みのあるストーリー、美しい映像、シーンのカット割り、カメラワーク、音響効果、テーマ・ミュージック、すべてが映画のお手本のようなバランスがとれていて、映画の魅力に満ち溢れている作品でした。

◆若い娘さんに教えられた

(百兵映さん 2013年4月20日14時31分)

敬虔なクリスチ안의家庭。その厳格さについていける子といけない子がいる。父と子、息子と息子の間に距離ができ、やがては陰悪になる。どこにでもあることだ。厳格な父親にも弱みと矛盾がある。付いていけない子もここを突いてはいけない。踏み込んではいけない一線だ。でも、この息子はその掟を破った。父は倒れ、兄は消えた。この状況を救ったのは、牧師でも長老でもない。教師でも友人でもない。息子の恋人だ。このお嬢さんが、瀕死の父に言う。

—— 彼に何かを求めてあげて

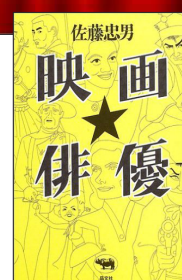
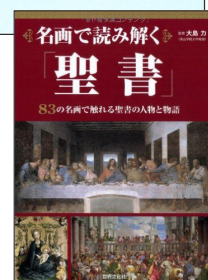
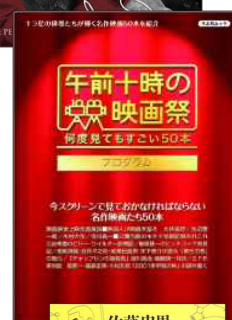
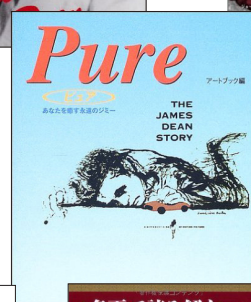
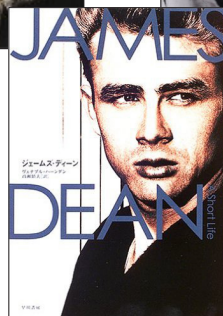
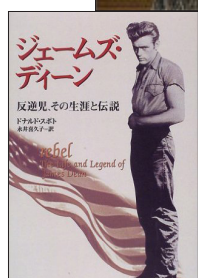
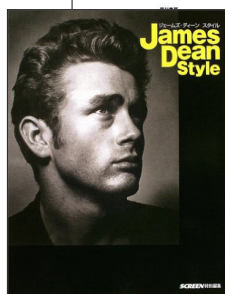
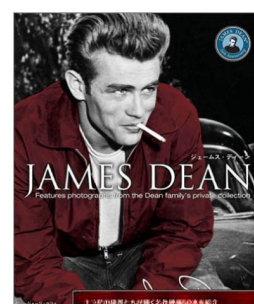
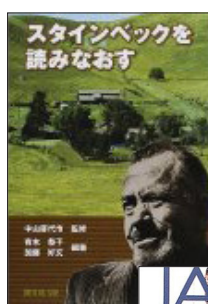
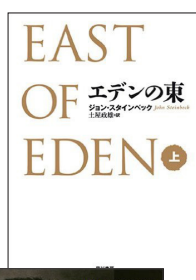
—— 父親の尊厳と信仰の敬虔さで生きてきたキリスト教徒に、出来ない息子への忍耐と寛容はあっても、“求める”ということはなかった。お嬢さんの必死の求めに応じて、うるさい看護婦を遠ざけ、息子に頼む。

—— ここに居て看病してくれ

—— これで親子が和解する。

この映画は、人を諭すような仕事（立場）の人が見るといい。最後の5分間だけでいい。還暦を過ぎてからでいい。

『エデンの東 上・下』	ジョン・スタインベック	早川書房	933.7
『アメリカとアメリカ人』 文明論的エッセイ	ジョン・スタインベック	平凡社	934.7
『スタインベックを読みなおす』	中山 喜代市／監修	開文社出版	930.2
『20世紀の映画監督』	Mook21	共同通信社	778.2
『エリア・カザン自伝 上・下』	エリア・カザン	朝日新聞社	778.2
『ジェームス・ディーン』	ジョージ・ペリィ	バジリコ	778
『ジェームス・ディーン』	ヴェナブル・ハーンダン	早川書房	778
『ジェームズ・ディーンスタイル』	渡辺 祥子	近代映画社	778.2
『ピュア』 あなたを癒す永遠のジミー	アートブック／編	アートブック	778.2
『ジェームズ・ディーン』 反逆児、その生涯と伝説	ドナルド・スポト	共同プレス	778.2
『ジェームズ・ディーン破れた夢の道』 その生涯、時代、伝説	ポール・アレクサンダー	近代文芸社	778.2
『映画俳優』	佐藤 忠男	晶文社	778.2
『映画で学ぶアメリカ文化』 U★S★A in the movies	八尋 春海	スクリーンプレイ 出版	778.2
『午前十時の映画祭 何度見てもすごい 50 本プログラム 1』		キネマ旬報社	778.2
『図解雑学旧約聖書』	雨宮 慧	ナツメ社	193.1
『入門旧約聖書の世界』 名画で読み解く、壮大な歴史と物語の世界！	田中 久美子／監修	洋泉社	193.1
『旧約聖書を読み解く』	雨宮 慧	日本放送出版協会	193.1



インフォメーション

第44回 『群衆』

12月17日(木)

① 10:30 ~ 12:35

② 14:00 ~ 16:05



クビになりかけた女性記者アンが起死回生の策として、一人の架空の自殺志願者を創り出す。オーディションに受かった男は元野球選手ウィロービー。名無しの権兵衛＝ジョン・ドゥーと名付けられた彼は、自殺の期日を定められ、その動向を日々追われ、彼女の新聞記事となっていく……。

監督：フランク・キャプラ

原作：リチャード・コネル、
ロバート・プレスネル

出演：ゲイリー・クーパー
バーバラ・スタンウィック
ウォルター・ブレナン
エドワード・アーノルド

製作：1941年アメリカ モノクロ

上映時間：124分

『地下室のメロディー』感想

- ・若いアラン・ドロンがかっこよかった。ジャン・ギャバンもしぶくてかっこよかった。ハラハラする展開が良かった。フランス映画最高です！
- ・良心の呵責で追い込まれてしまうのですね。ギャバンもアラン・ドロンも凄い役者です。迫力満点です。時代を超えた作品です。
- ・特にラストシーンが印象的。そこへ持っていく詰めがすごい迫力。
- ・最後が何とも言えませんでした。
- ・ラストが面白かった。
- ・スリリングで手に汗した。ヨカッタ。
- ・ハラハラする映画 おもしろかった。
- ・ジャン・ギャバンとアラン・ドロンかっこいいですね。タバコを吸うかっこよさ！
- ・久しぶりにアラン・ドロンに会いました。ありがとう。
- ・アラン・ドロンがかっこよかった。
- ・音響効果がよい。ビートの効いたサクソなどキーの高さがよい。
- ・何回観ても楽しい映画でした。
- ・楽しかった。また来ます。
- ・ジョン・フォード監督の映画を上映してください。
- ・アジアの映画も紹介して欲しい。

サロン・ド・シネマ

ホールホワイエにて

寄付金でお茶菓子を提供します。
映画の上映前にご利用ください。

午後の部の上映終了後に、2階の活動コーナーにおきましてスタッフの打合せをしています。上映会の運営に関心のある方は、お気軽にご参加下さい。

今後の上映予定(毎回木曜日)

1月21日 『トップ・ハット』

2月18日 『雨の朝パリに死す』

※ 開催日及び上映作品は、
変更になる場合があります。

託児：500円
(各回5名まで)
申込みは、
1週間前までに。

「シネマ・ド・リぶら」の賛助サポーター 受付中！ 年間：1口 2,000円から

随時、ご寄付も
受け付けています。

図書館のDVD資料だけでは、無料で上映できる作品が限られています。あなたの賛助で、上映作品の幅が広がります。登録は市民活動センターへ。相談窓口：戸松 070-5333-1842